

2017 年 10 月 4 日

報道関係各位



伊藤忠都市開発

分譲マンション『クレヴィア田端』 「2017 年度グッドデザイン賞」を受賞

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長:寺坂晴男)は、分譲マンション『クレヴィア田端』(2017 年 3 月竣工)が、「2017 年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)」を受賞しましたのでお知らせ致します。弊社は、今回の受賞により、11 年連続の受賞となります。

弊社は、今後もお客様のニーズに合わせた商品開発を行うとともに、未来を見据えた新たな価値を創造しながら、快適な住まいを提供して参ります。

■受賞プロジェクト名:『クレヴィア田端』

(カテゴリー:集合住宅)

**GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞**

<プロジェクト概要>

北区田端にある14階建て、総戸数33戸の分譲マンション。特徴は、東京ガス株式会社の社内シンクタンク・都市生活研究所と共同設計した間取り「のぞみプラン」。「のぞみプラン」は家族ごとに異なるニーズや価値観に適した間取りを設計した住戸プランです。東京ガス都市生活研究所では、家族同士の交流時間が減少傾向にある社会的背景や、ライフステージによって異なるニーズをもとに、リビングや子供部屋に求められる機能を調査。「のぞみプラン」では、その調査結果から見出した、家族のライフステージごとの物理的・行動的ニーズを間取りに具現化し、それぞれの家族に適した住戸プラン(5つの間取り)の提案を行いました。



クレヴィア田端



のぞみプラン例 プレイルーム

<物件概要>

売主: 伊藤忠都市開発株式会社、三信住建株式会社

所在地: 東京都北区田端新町三丁目 28-4

交通: JR 山手線・京浜東北線「田端」駅徒歩 9 分、JR 東北本線・高崎線「尾久」駅徒歩 12 分

敷地面積: 686.55 m²

構造規模: 鉄筋コンクリート造・地上 14 階建

総戸数: 33 戸

専有面積: 65.35 m²~75.52 m²

竣工日: 2017 年 1 月 16 日

施工会社: 株式会社イチケン 東京支店

設計会社: 株式会社三輪設計

<のぞみプランを提案した理由・背景>

近年のマンション市場は、土地価格の上昇により一戸あたりの住戸面積が減少傾向にあります。生活空間が縮小される中、いかにニーズに合った最適な住戸提案ができるのかが一つの課題と認識していました。

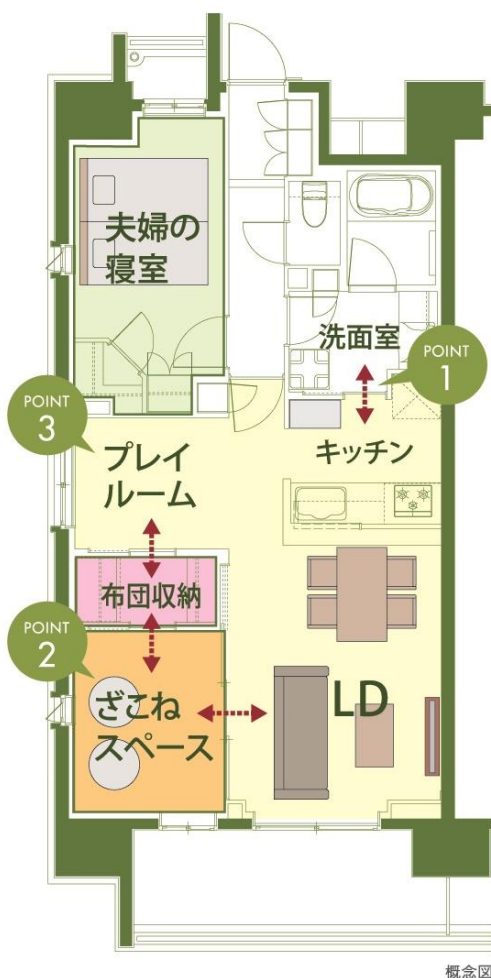
一方、近年の共働きの増加や子供の塾・習い事により、家族全員の起床在宅率が50%を超える時間帯は、午後8時～9時台の2時間のみ(父、母、中学生、小学生の4人家族の場合)という実態に注目。昔よりも忙しくなった現代の家族に対し、最適な住空間を提供することに加え、例えば「子育てを手助けする間取り」といったコミュニケーションを補う機能を間取りに付与することが重要であるとの考えに至りました。こうした背景から、現代社会の家族のニーズに対して、ライフステージごとに適応する「のぞみプラン」を開発・提案しました。

<のぞみプラン例>



子育て世代〈前期〉

子どもの健やかな成長を育むプラン。



概念図

POINT
3

キッチンから見守りやすいプレイルーム

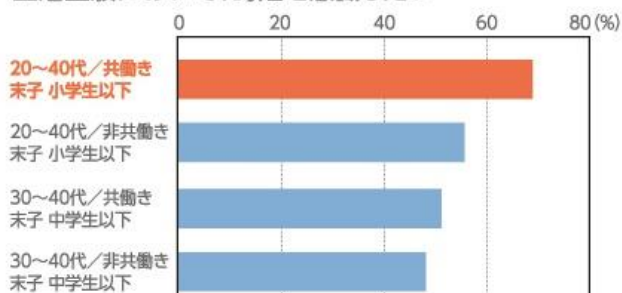
家具などが少なく、子どもの遊び場に最適な空間です。キッチンで家事をしながら子どもの様子を見守れるから安心。家族がくつろぐリビング・ダイニングも散らかりません。

POINT
1

キッチン・洗面室への動線がスムーズ

子どもが小さいご家庭では、子育てをはじめ何かと多忙。子どものいない場合なら、自分たちのためにできるだけ時間を有効活用したい。そこで、キッチンと洗面室の動線を2WAYにしてできるだけ短く。料理と洗濯の同時進行など家事効率がアップして、暮らしにゆとりの時間が生まれます。

生活全般において、時短を意識したい



あてはまる・ややあてはまるの回答数を合算

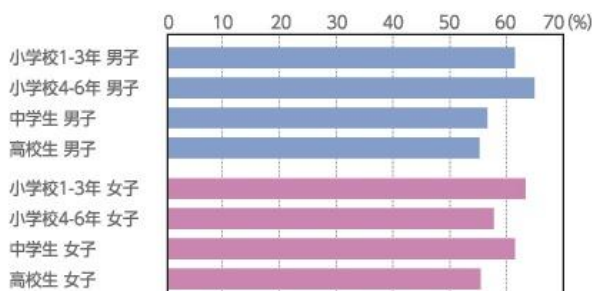
出典：東京ガス都市生活研究所
子育てママの時短・省手間(2012年10月)

POINT
2

親子が一緒に眠れるスペース

子どもが小さなうちは、川の字になって一緒に就寝したい。暮らしにプラスアルファのスペースが欲しい。そんなニーズに応える空間が「ざこねスペース」です。夫婦の寝室とは別に、親子3人で眠るスペースとして活用したり、友人用のゲストルームとして利用したり。動線にも配慮したクロゼットには、布団が収納できるスペースを設けています。

子どもが小さいうちは家族全員で川の字で寝るのが良い



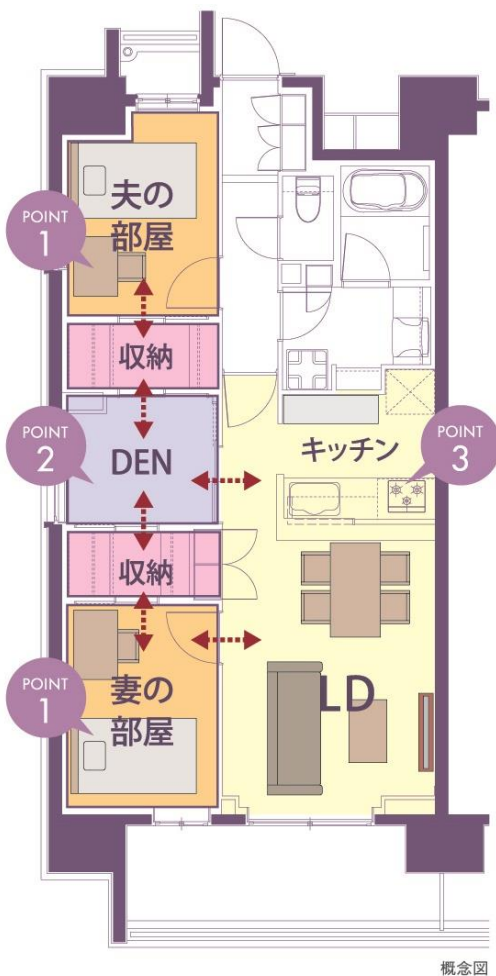
あてはまる・ややあてはまるの回答数を合算

出典：東京ガス都市生活研究所
子育て世帯の住空間研究(2014年5月)



子育て終了世代

二人の快適で豊かな時間を
楽しむプラン。



概念図

POINT 3

料理に慣れていないご主人にも 使いやすい「ピピッとコンロ」

お互いの時間を楽しむ暮らしなら、ご主人がお料理することも特別ではなくなります。そこで、温度調節機能や調理タイマーが付いた使いやすいコンロを採用。料理に慣れていないご主人にも安心してお料理を任せられます。

<審査委員による評価コメント>

この「のぞみプラン」は、一般のマンションの間取りと異なり、水廻りを片側に寄せることで、空間の使い方がたいへんフレキシブルになっている。この特性は、経時的にも、共時的にも、分譲マンションに多様性を与えることが期待される。さらにいえば、プランによっては中廊下を短縮することにもなるし、場合によっては玄関を広く取り、土間状の空間をつくりだすこともできそうだ。つまり、「のぞみプラン」には、プロジェクトのコンテキストに応じてさらに発展させるだけのポテンシャルがあるといえる。

POINT 1

寝室を分ける住まいで 自由な時間を大切に

定年後は夫婦一緒にいる時間が長くなるので、できればそれぞれのプライベートな時間を大切にしたい。そんな想いに応えるために、洋室(1)と洋室(2)に寝室(居室)を分離。クロゼットの扉を開けておけば行き来もしやすく、風や光も通り抜けて気持ちのよい空間になります。

《退職がきっかけとなり、変化したこと》
配偶者との時間が増えた



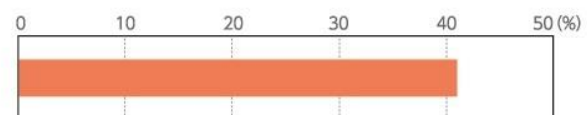
出典：東京ガス都市生活研究所
創食世代のセカンドライフ(2013年9月)

POINT 2

趣味や孫と過ごす 部屋として使えるDEN

大好きな趣味をはじめ、自分の生活を楽しむ空間としてDENを設置。時間の空いているときには孫を預かって育児の手助けをしたり、ゲストルームとして利用したり、暮らしの豊かさを広げるプラスワンの空間です。

自分の手の空いているときだけ、
孫の育児を手助けしたい

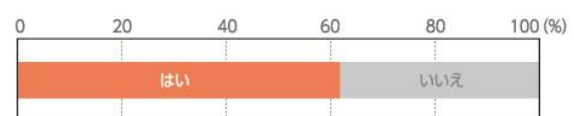


あてはまる・ややあてはまるの回答数を合算

出典：東京ガス都市生活研究所
創食世代のセカンドライフ(2013年9月)

《退職がきっかけとなり、変化したこと》

夫：妻がいないときは、自分で料理をするようになった



出典：東京ガス都市生活研究所
創食世代のセカンドライフ(2013年9月)

【弊社グッドデザイン賞受賞実績】 <http://ipd.co.jp/gd/>

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

伊藤忠都市開発(株) 広報室/有吉 TEL.03-6811-0221